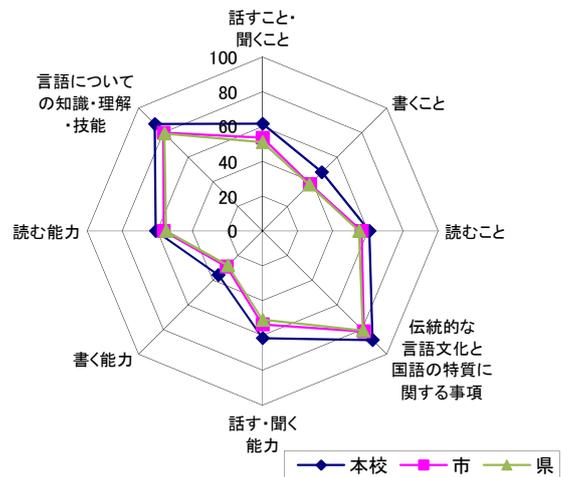


宇都宮市立今泉小学校 第5学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	61.6	53.6	51.0
	書くこと	47.8	38.1	37.6
	読むこと	60.9	56.4	55.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	88.6	81.6	80.9
観点	話す・聞く能力	61.6	53.6	51.0
	書く能力	35.7	29.0	28.0
	読む能力	60.9	56.4	55.0
	言語についての知識・理解・技能	86.9	79.9	79.1



★指導の工夫と改善 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>○本校の平均正答率は、県の平均を10.6ポイント、市の平均を8ポイント上回っている。</p> <p>○司会者の話し合いの進め方の工夫についての設問は、高い正答率となっている。</p> <p>○互いの考えの共通点や相違点を整理して聞くことについて、よく理解されている。</p>	<p>・内容を正確に聞き取ったり、話し手の意図を捉えたりしながら聞くことを継続的に指導してきた成果が表れており、今後も習熟を図っていききたい。</p> <p>・司会者としての話し合いの進め方については、手順の理解の定着とともに、司会者を立てての話し合いの機会を増やししながら、実践を通して技能を高めていきたい。</p>
書くこと	<p>○本校の平均正答率は、県の平均を10.2ポイント、市の平均を9.7ポイント上回っている。</p> <p>●与えられたテーマに対する記事について、条件を合わせて書く設問については、県の正答率を10.2ポイント上回っており高い正答率と言えるが、全体のバランスから見ると、特に書くことが落ち込んでいて、課題として取り組む必要がある。</p>	<p>・文章を書くことについては、これまでの指導の成果が表れているが、更なる向上を目指して今後も指導継続していききたい。</p> <p>・学校行事や学年行事などの機会を生かし、文章を書く機会や読み合う場を増やし、書くことの楽しさを味わわせることで、意欲を一層高めていきたい。</p>
読むこと	<p>○本校の平均正答率は、県の平均を5.9ポイント、市の平均を4.5ポイント上回っている。</p> <p>○叙述を基に、登場人物の気持ちを想像して読むことや場面の様子を読むことは、県の平均を10ポイントほど上回っており、高い正答率である。</p>	<p>・説明文や物語文、それぞれに応じた読み方の習得を図っていききたい。</p> <p>・段落相互の関係に目を向けた読み方の習熟を図り、読み取る力を更に伸ばすようにしていきたい。</p> <p>・叙述に即した読み取りについては、場面ごとに丁寧に指導し理解を深めていくようにしていきたい。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>○本校の平均正答率は、県の平均を7.7ポイント、市の平均を7ポイント上回っている。</p> <p>○第4学年配当漢字を書くことはよくできており、習熟が図られている。</p> <p>●言葉の学習については、全ての設問で高い正答率であったが、指示語の使い方については、県の平均をやや上回る程度である。</p>	<p>・漢字や言語の習得については、全体としてはよくできているが、個人差が大きいので、個々に応じてきめ細やかな指導を行っていききたい。</p> <p>・繰り返し学習については、学校での学習に加え、漢字ドリルの効果的な活用や、発達段階に応じた家庭学習の工夫等、具体的な支援をしていきたい。</p>